

2月例会 三ヶ上山 (1035m) 鏡野町上齋原

実施日 2021年2月25日 (火)

天候 晴れ

参加者 CL 船越 SL 角原覚 SL 永谷

小林^陽 佐々木 近藤^嗣 近藤^浩 西崎 森田 藤川^豊 角原^鶴 梶原 前田 喜多 神山 小林^東
秋山 小田 森本 (合計19名)

行程 岡山駅西口発(6:00) ⇒ 道の駅くめなん(トイレ) ⇒ 上齋原振興センター(8:10) →
開会式・体操 出発(8:35) → 林道から登山道分岐(9:15) → 三ヶ上頂上(11:00) →
三角点(11:35~12:10) 昼食 → 三ヶ上頂(12:35) → 尾根コース登山道出会(13:00) →
上齋原振興センター(14:30) 閉会式・体操 → 上齋原文化センター(15:00) ⇒ 岡山駅着(16:30)

概要

今年は早くから大雪予報、1月には大寒波到来もあり、雪山登山への期待を膨らませていたが、2月になって小春日和が続き、県北の雪も一気に減少した。天気予報に一喜一憂しながら当日を迎え、早朝から15名がバスに乗り込み出発した。途中から2名乗車、そして県北組2名は上齋原振興センターで合流し参加者は19名である。上齋原振興センター到着後、開会式・準備体操、スノーシュー・カンジキは背負って出発する。道路に雪はなく、山の北斜面の雪景色に少し期待しながら進む。林道から登山道に入ると残雪があり、登山道脇の雪の上を選んで歩き、霜柱をサクサクと踏みながら順調に登る。稜線出会前のロープ箇所を避けて、左の稜線をよじ登る。雪が少なく、根曲竹の藪漕ぎとなる。登山道と合流し、ブナや杉の古木を過ぎて稜線に出ると雪道となり、360度の展望に大歓声があがる。頂上は目前、山上行者の石仏が待つ頂上到着、雪を探して記念撮影。三角点への登山道と稜線は雪で白い、昼食は三角点と決めて全員で出発した。急登は滑らないようにステップを切りながら慎重に登る。三角点で昼食後、アイゼンを装着して下山開始した。初めてアイゼンを使用する人もいて、楽しそう。頂上まで戻り、登りと同じ稜線を雪のある場所を選んで鉄柵まで下る。あとは、登山道を下山するが、気温が上がり霜柱が解けて道が滑る、滑る。誰かが滑る度に歓声を上げながら、ケガもなく上齋原振興センターに無事到着した。閉会式後、現地集合の2名と別れて文化センターまでもうひと頑張り、バスに乗り予定より早く岡山駅に到着した。

樹氷の雪景色と出会えなかったのは残念でしたが、晴天に恵まれ、頂上からは雪の大山や周辺の雪山も見え、残雪歩きもできたことに満足しています。

スノーシューは出番がなく荷物になりましたが、歩荷訓練(体力作り)と思いご容赦下さい。

全員無事に下山できたことに感謝しています。皆様有難うございました。(永谷記)

